

1. 本授業科目の基本情報

講義名（コード）	THB123E	ビジネスマナー IE	
科目名（コード）	THB123	ビジネスマナー IE	
対象学科	グローバルビジネス学科	配当学年	1年生
対象コース	HB1	単位数	2単位30
授業担当者	渋谷里美	時間数	
成績評価教員	渋谷里美	講義期間	春期
実務者教員		履修区分	選択必修
実務者教員特記欄			講義

2. 本授業科目の概要

到達目標・目的	国際力・人間力教育における、コミュニケーション分野の学びの中で、学生が異なる母語を持つ他者と誤解なく意思疎通できるために、身近な話題について事実や要点を明確に伝えられるようになる
全体の内容と概要	N2レベルの漢字・語彙を学ぶ。漢字や熟語を理解し、正確に読むことができるようにする。漢字については書く練習も行っていく。
授業時間外の学修	
履修上の注意事項等	出席が2/3以上の場合のみ成績評価を行う。満たない場合は単位不合格になる。

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件	下記基準に従う。出席は2/3以上が必要となる。1/3以上の欠席の場合、自動的に落第となる。		
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理能力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	授業の内容・目的を理解することができる	ガイダンス（年間授業スケジュール） 目標設定
2	年中行事① 日本の年中行事の概要を理解する	各国の年中行事についてまとめる 総まとめ語彙N2 第1週 1日目
3	年中行事② 特徴的な年中行事についてまとめる	各国の年中行事について具体的に調べてまとめる 総まとめ語彙N2 第1週 2日目
4	年中行事③ 年中行事を紹介する	各国の年中行事についてまとめる→発表する・他国の文化について学ぶ 総まとめ語彙N2 第1週 3日目
5	異文化理解① 各国の年中行事についてまとめる	日本の年中行事の概要や特徴を理解する 総まとめ語彙N2 第1週 4日目
6	異文化理解② 各国の年中行事を紹介する	日本の年中行事の概要や特徴を理解する→発表する 総まとめ語彙N2 第1週 5日目
7	異文化理解③ 他国の文化について学ぶ	日本の年中行事の概要や特徴を理解する→発表する（みんなに紹介する形） 総まとめ語彙N2 第1週 6日目
8	日本の現代文化① 日本の現代文化について概要を知る	日本の現代文化について概要を知る 総まとめ語彙N2 第1週 7日目
9	日本の現代文化② 日本の現代文化についてまとめる	日本の現代文化について調べて、まとめる 総まとめ語彙N2 第2週 1日目
10	日本の現代文化③ 日本の現代文化について紹介する	日本の現代文化について調べて、まとめる→発表する 総まとめ語彙N2 第2週 2日目
11	日本の歴史的災害について① 日本の災害について概要を知る	日本の歴史的災害について概要を知る 総まとめ語彙N2 第2週 3日目
12	日本の歴史的災害について② 災害対策について意見を交わす	日本の災害と対策について調べて、考える 総まとめ語彙N2 第2週 4日目
13	日本の歴史的災害について③ 災害対策について発表する	日本の災害対策について発表する 総まとめ語彙N2 第2週 5日目
14	期末試験	学期試験
15	追試・フィードバック	Feedback

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	総まとめ語彙N2
参考文献・資料等	適宜配布
備考	木曜日2限